

棟の工事について

一般住宅の屋根は平部と棟で出来上がっていることをご存知でしょうか？



平瓦（平部の瓦）は大工さんの作った屋根に伏せられて安定しているのですが、
棟というのは多くの場合平瓦の上にねり土をおき、表面を漆喰で整えた後、
その上に熨斗瓦（棟の瓦）を固定して作られています。

瓦の寿命は **30～100年**、漆喰や土の寿命は **10～15年**と言われており、
瓦よりもねり土や漆喰の寿命が先にきてしまうのが今の現状です。

これを改善するには次の工事が効果的です。

棟の工事①「漆喰塗り」

これは痛んだ漆喰を剥がし、新しい漆喰に塗り替える工事です。

状況によっては痛んだ漆喰を覆うように漆喰をかけたりもします。

漆喰の役割は主に、①棟の中の土を濡らさないため

②棟の強度アップ

となっており、寿命をむかえて↓のように状態になると十分に効果を発揮しなくなります。



寿命がきた漆喰は白く風化して剥がれ落ちていき、中の土や瓦まで痛んできてしまいます。そうなる前に新しく漆喰を塗っていくのが**効果的なメンテナンス**と言えるでしょう。

棟工事②「棟取り直し」

これは今ある棟を解体して、新しく作り直す工事になります。

瓦に痛みが少なければもう一度同じ瓦を使うこともできます。

「漆喰塗り」では解決できないほど壊れてしまった棟や、近年頻発する災害にそなえて工事する方もいます。

当社では全日本瓦工事業連盟のガイドライン工法に基づき、↓写真のように

棟に**鉄筋**を入れて全ての瓦を銅線で**緊結**し、全て**南蛮漆喰**で施工いたします。



寿命の短いねり土を一切使わず、全てに**耐久性**、**撥水性**に優れた**南蛮漆喰**を使い、
全ての瓦を**鉄筋**に**緊結**するので、災害にも負けない強い棟が出来上がります。

棟工事③「棟 7 寸丸交換工事」

既存の棟瓦を全て撤去・処分し、7寸丸冠瓦という新しい瓦でやり直す工事です。

メリット

- ① 棟を積まないなので、**屋根が軽くなる**。
- ② 最新の工法で瓦を脳天ビス留めしていくので、震災・風災などの**災害に強い**。
- ③ 部分的にだが、**新品の瓦**で屋根が綺麗になる。
- ④ 既存の棟を再び取り直すより**安価**に仕上がる。

デメリット

- ① 既存の**純和風の外観が崩れる**。
- ② 屋根の形によっては対応できない時がある。

